



～ スキーエリア再活性化のための若者需要創出プロジェクト～

日本全国85カ所のゲレンデが19歳のリフト券をタダにします！ 「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」プロジェクト始動！

株式会社リクルート(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO: 柏木齊、以下リクルート)の旅行ディビジョンに設置された調査・研究組織「じゃらんリサーチセンター(以下、JRC)」(<http://jrc.jalan.net/>)は、スキーエリア再活性化のための若者需要創出プロジェクト「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」を企画・実施しております。このプロジェクトでは、JRCの呼びかけに賛同した日本全国85カ所のスキー場と連携し、2011年度中19歳の男女のリフト券代を無料にします。スキー業界にとって最も重要なエントリー層と考えられる19歳層を対象にコミュニケーションを展開し、スキーエリア再活性化を目指します。

1992年4月2日～1993年4月1日生まれ

このたび11月7日(月)より、「雪マジ！19」会員の登録を開始いたします。

「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」プロジェクト概要

スキー・スノーボードなどのスノーアクティビティは、参加者の年齢が上がるにつれて参加率が低下するという特徴があるため、スノーアクティビティを開始する若年層・初心者層の強化と、その後、長く継続していただくための方策が必要となります。本プロジェクトは、このような業界・地域に共通する課題に取り組むため、19歳を中心とした若年層スキーエリアを訪れる若者を増やし、今後長きにわたってスキーエリアを再活性化させる目的で発足させました。

活動初年度の今期は、スキー場のフリーミアムビジネスを目指し、国内85カ所のスキー場と連携して、2011年度中19歳(1992年4月2日～1993年4月1日生まれ)のリフト券代を無料にします。スノーアクティビティ市場にとって最も重要なエントリー層である19歳層を対象にスキー場来訪のきっかけを与え、スキーエリアの中長期での集客増・再活性化を目指します。

1:公式サイト「雪マジ！19～SNOW MAGIC～」にて、会員登録(無料)が必要です。

「雪マジ！19 ～SNOW MAGIC～」会員登録概要

【公式サイト】「雪マジ！19～SNOW MAGIC～」

(PC版)<http://www.jalan.net/yukimaji19/>

(ケータイ版)<http://www.jalan.net/yukimaji19/m>

【対象者】1992年4月2日～1993年4月1日生まれの男女

【登録(無料)・適用方法】

- 1)公式サイト会員登録コーナーより、携帯電話・スマートフォンにて会員登録(当日可)
QRコードが読み取れない場合は下記URLを携帯電話・スマートフォンに転送(<http://sbn.japaho.com/mshop/regist19.html>)
- 2)スキー場で、登録時に発番された会員番号と写真付き身分証明書をリフト券購入時に提示

【対象期間】2011～2012年冬季シーズン

スキー場の営業開始・終了期間は各々異なります

【会員登録開始日】2011年11月7日(月)10:00～

会員有効期限は2012年4月15日。シーズン中何回でも行使可。

【対象スキー場】北海道から九州まで全国85ゲレンデ

該当スキー場名は別紙を参照ください



会員登録QRコード

【この件に関する報道関係お問い合わせ先】

じゃらん PR事務局 ((株)アンティル 内) 担当:南口、山岡、中根

電話:03-5572-6061 / FAX:03-5572-6065 / Mail:m-yamaoka@vectorinc.co.jp

(参考資料)

参画スキー場一覧

2011年11月7日時点

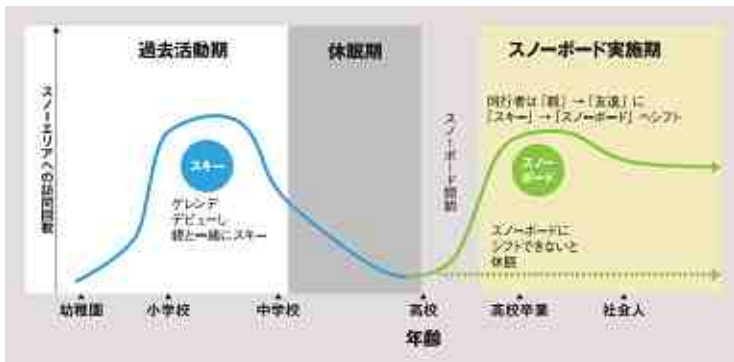
「雪マジ！19」対象無料パターン。今後変更になる可能性があります。詳細は公式サイトにて最新情報をご確認ください。

- A: 全日無料: シーズン中全営業日無料__50カ所
- B: 平日無料: 年末年始(12/23~1/3)、3連休((1/7~1/9)、土日以外の平日すべて無料__20カ所
- C: 特定日以外 全日無料: 年末年始(12/23~1/3)、3連休((1/7~1/9)、土日以外の平日すべて無料__8カ所(一部、個別除外日の設定があります。詳細は、公式サイトにて最新情報をご確認ください。)
- D: ナイター無料: シーズン中ナイター営業日すべて無料__7カ所

no.	スキー場	パターン	都道府県	
1	今金町ピリカスキー場	A	北海道	
2	かもい岳スキー場	B		
3	グリーンピア大沼スキー場	C		
4	国設阿寒湖畔スキー場	B		
5	ぬかびら源泉郷スキー場	B		
6	星野リゾート トマム スキー場	A		
7	ナクア白神スキーリゾート	A		青森県
8	網張温泉スキー場	B	岩手県	
9	岩手高原スノーパーク	D		
10	雫石スキー場	C		
11	八幡平リゾートパノラマスキー場	D	宮城県	
12	オニコウベスキー場	A		
13	秋田八幡平スキー場	C	秋田県	
14	ジュネス乗駒スキー場	A	山形県	
15	栗子国際スキー場	A		
16	黒伏高原スノーパークジャングル・ジャングル	D		
17	蔵王ライザワールド	C		
18	会津高原だいにくらスキー場	A		
19	会津高原高畑スキー場	A		
20	会津高原南郷スキー場	A		
21	あだたら高原スキー場	A	福島県	
22	アルツ磐梯スキー場	A		
23	猪苗代スキー場(中央&ミネロ)	A		
24	裏磐梯スキー場	A		
25	裏磐梯猫魔スキー場	A		
26	グランディ羽鳥湖スキーリゾート	B		
27	グランデコスノーリゾート	B		
28	二本松塩沢スキー場	A		
29	沼尻スキー場	A		
30	ファミリースノーパークばんだいx2	C		
31	箕輪スキー場	A	栃木県	
32	横向温泉スキー場	A		
33	リステルスキーファンタジア	B		
34	マウントジーンズ・スキーリゾート那須	B		
35	スノーパーク尾瀬戸倉	B		
36	ナルン水上スキー場	A		群馬県
37	バルコール孺恋スキーリゾート	A		
38	ホワイトパレススキー場	B		
39	万座温泉スキー場	A		
40	水上高原 藤原スキー場	C	山梨県	
41	カムイみさかスキー場	B		
42	サンメドウズ清里スキー場	B		
43	ASAMA2000パーク	C	長野県	
44	あららぎ高原スキー場	D		
45	X-JAM高井富士	A		
46	エコパパレススキー場	D		
47	おんたけ2240	A		
48	車山高原スキー場	C		
49	黒姫高原スノーパーク	A		
50	治部坂高原スキー場	B		
51	中央道伊那スキーリゾート	D		
52	野麦峠スキー場	A		
53	白馬さのさかスキー場	A	新潟県	
54	白馬八方尾根スキー場	D		
55	ヘプンスそのはら SNOW WORLD	A		
56	Mt.乗鞍	A		
57	よませ温泉スキー場	A		
58	池の平温泉スキー場	A		
59	シャルマン火打スキー場	A		
60	まつだいファミリースキー場	A		
61	松之山温泉スキー場	A	岐阜県	
62	六日町スキーリゾート	A		
63	湯沢中里スキー場	A		
64	白川郷平瀬温泉 白弓スキー場	B		
65	スノーウェーブパーク白鳥高原	B		
66	乗鞍高原 飛騨高山スキー場	A		
67	飛騨かわいスキー場	B		
68	ひだ舟山スノーリゾートアルピコア	A		
69	平湯温泉スキー場	A	滋賀県	
70	モンデウス飛騨位山スノーパーク	A		
71	国境高原スノーパーク	A		
72	箱館山スキー場	A	兵庫県	
73	おじろスキー場	B		
74	ばんしゅう戸倉スノーパーク	A		
75	ミカタスノーパーク	B		
76	若杉高原おおよスキー場	A	鳥取県	
77	奥大山スキー場	A		
78	だいせんホワイトリゾート	B		
79	大山榭水高原スキー場	A		
80	花見山スキー場	A	島根県	
81	わかさ氷ノ山スキー場	A		
82	アサヒテングストンスキー場	A		
83	瑞穂ハイランドスキー場	B	広島県	
84	コートピアサイオト	A		
85	五ヶ瀬ハイランドスキー場	A	宮崎県	

本プロジェクトターゲット概念図

スキー・スノーボード経験者の中で「高校生の頃」(15歳~18歳)、「高校卒業後、社会人になる前まで」(19歳~22歳)で、スノーボードを開始した若者は、現在もスキー場に来ています(じゃらんリサーチセンター調べ)。「生涯中のスキー場訪問総数」を左右するエントリータイミングは、高校を卒業した最初の冬を迎える「19歳前後」と考え、本プロジェクトでは19歳をターゲットとしております。



< 19歳の、3つの壁 >

19歳前後では、以下の3つの変化が同時に訪れるため、スキー場来訪ハードルになっていると思われまます。

同行者の壁: 家族旅行から友人との旅行へ

費用負担の壁: 親が費用負担から、自分で費用負担へ

アクティビティの壁: 「スキー」から、若者イメージの「スノーボード」へ

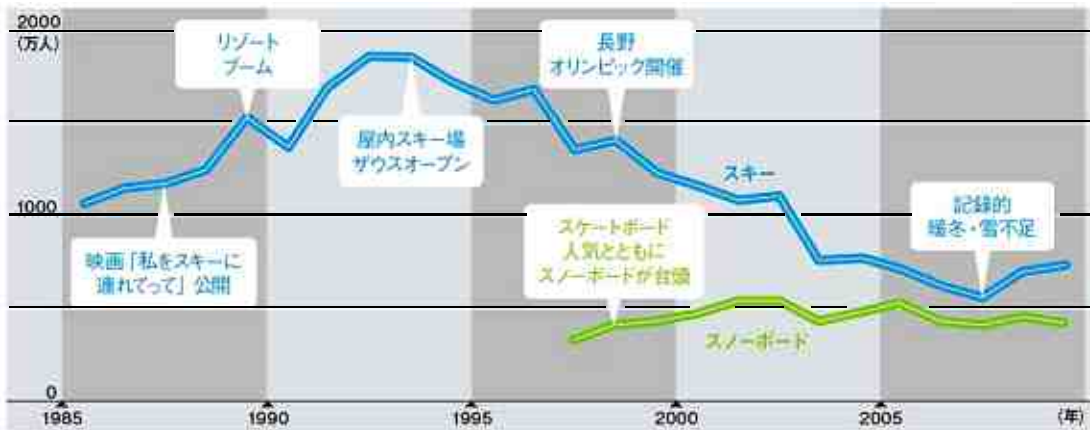
じゃらんリサーチセンターとは (<http://jrc.jalan.net/>)

国内旅行市場をより活性化することを目的に、旅行・レジャーの動向やトレンドの研究、観光による地域振興支援を行う研究調査機関。2005年より(株)リクルート旅行カンパニー内に設置。

〔参考資料〕

スキー・スノーボード人口の推移

1990年代前半をピークに減少傾向にあり、スキー人口は最盛期の約3分の1になっている。

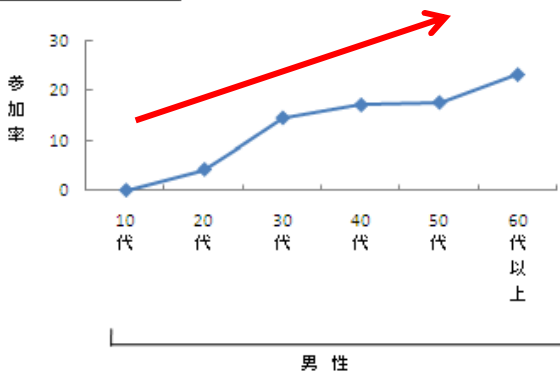


出典：「レジャー白書2010」日本生産性本部（2010年7月）1年間に1回でもその活動に参加した人の人数であり、のべ人口ではない。2009年度データより、調査手法が訪問留置法からインターネット調査に移行。

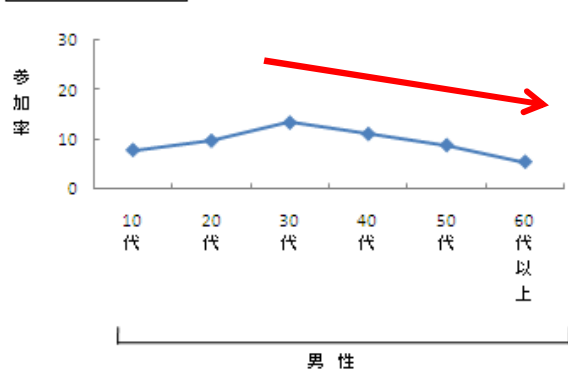
ゴルフ・スキー・スノーボードの年代別参加率

出典：「レジャー白書2010」日本生産性本部（2010年7月）

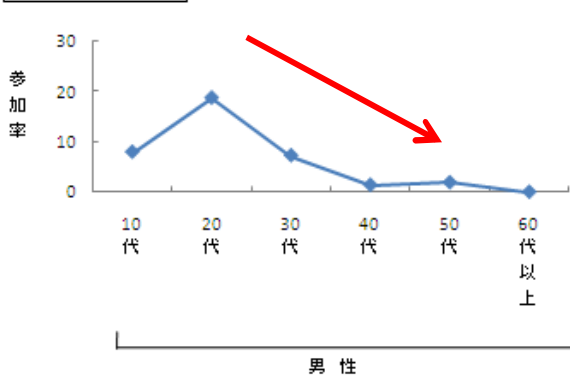
ゴルフ(コース)



スキー



スノーボード



年代が上がれば参加率があがっていく「ゴルフ(コース)」などと違い、スキー・スノーボードは、年代が上がるにつれ、参加率が下がっていく。

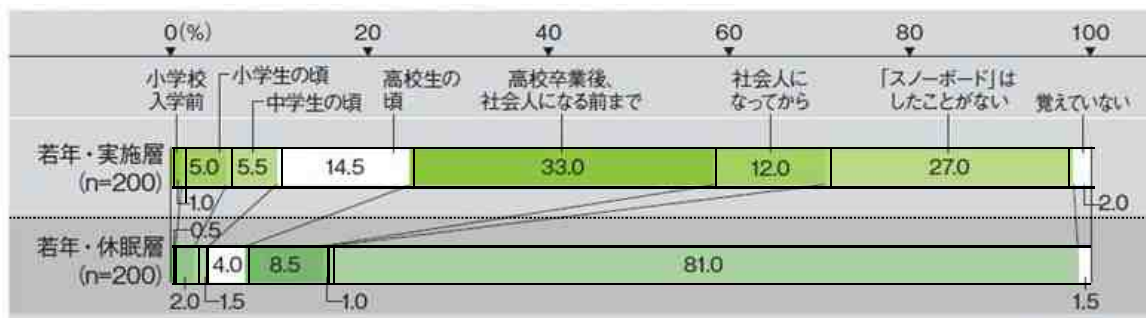
つまり、「40代でゴルフ(コース)デビューする人」は、比較的存在するが、「40代でスキー(スノーボード)デビューする人」は、ほとんど存在しない。

このような市場特性において、市場活性化のカギは、主に以下の2点である。

市場参入時(エントリー時)に、最大多数を獲得する
上記で参入した人々が、生涯にわたって何度も実施する
(ライフタイムバリュー向上 = 生涯総回数の最大化)
本プロジェクトは、特に の実現を目指しています。

若年スノーアクティビティ実施層と休眠層における差異

出典：じゃらんリサーチセンター「スノーエリア再活性化のためのマーケティング調査2011」 若年は18歳～29歳男女



現在、スキー場に来訪している若年層（2010年にもスキー場来訪経験あり）と、休眠している若年層（3年以上スキー場来訪経験なし）を比較すると、「高校生」「高校卒業後、社会人になるまで」の間に、スノーボードをスタートできるかどうか、最も大きな差異である。19歳前後での経験が、その後のスキー場来訪を左右している。